

**〈令和4年度〉ミライカナエル活動サポート事業 協働コース（行政以外との協働）**

<b>団体名</b>	特定非営利活動法人 湘南食育ラボ
<b>事業名</b>	ハレの日を楽しむユニバーサルレストラン
<b>協働相手</b>	特定非営利活動法人 laule'a
<b>事業期間</b>	2022年（令和4年）4月1日～2024年（令和6年）3月31日〈事業1年目〉
<b>事業費</b>	2,093,032円（うち藤沢市補助金1,500,000円）

**事業の目的**

加齢による嚥下障害については知られていますが、食べることに困難を抱えている子どもたちがいることはあまり知られていません。ラウレアさんとのやり取りの中で嚥下に障がいのあるお子さんが外食時、中でも七五三やクリスマスなどの”ハレの日”にも家族で同じものが食べられなかったり持込も拒否されたりすることがあるということを知りました。今回の事業を通してそれらの悩みを軽減することを目的とします。「ハレの日を楽しむユニバーサルレストラン」を協働事業とし、家族で楽しめるハレのディナーのランチ、ディナーの宅配とともに、食形態に関わらず家族で同じ食事が楽しめるユニバーサルレストラン等をプロジェクト化し障がいによって嚥下の難しいお子さんご家族が笑顔で食生活を送れる為の活動を推進します。2年間の実施期間があるコースなので食事を提供する場を作るだけでなく、広報活動なども行い、広く市民の方に利用していただける場所づくりを進めていきます。

**事業の内容と成果・効果**

- ・2022年4月 食育ラボとラウレア、ラウレアにお子さんを通所させている保護者の方たちとの顔合わせ、今後のプロジェクトの方針や進め方を共有、保護者の方たちが普段食事でのご苦労や不自由なことなどを伺った。
- ・2022年5月 元々事業場所として考えていた善行キッチンではなく、段差が少なく車いすでの出入りが容易、大型の車いすが複数台入っても十分な広さ、大型車を停める駐車スペースが十分、使い慣れた厨房があるという理由から松下政経塾内の厨房と食堂を一時的に事業実施場所とすることに決定。
- ・2022年6月 プロジェクトメンバーだけでなくラウレアの他の保護者の方たちにも回答していただけるアンケートを作成。ペースト食を提供しているレストランにそれぞれ視察に行き、後日報告することに決定。
- ・2022年7月 松下政経塾内を実際に保護者の方に見学していただく。6月に作成したアンケート84件回収。
- ・2022年8月 食育ラボのスタッフ3名で、新横浜にある Maison HANZOYA へ視察。ラウレア側でもいくつかのレストランへ視察。視察の内容を元に試食会への準備。
- ・2022年9月10月 試食会の詳細を決定
- ・2022年12月 17(土)に試食会実施
- ・2023年1月 試食会の振り返りと次回試食会の日程を決定
- ・2023年2月 26(土)に第二回試食会を実施
- ・2023年3月 今年度の振り返りと来年度に向けての調整



〈成果・効果〉

この事業を実施する上で必ず必要となる保護者の方たちと連携して事業を進められたことで当事者の方たちの考えや意見を知ることが出来た。それによってその後の試食会などもスムーズに行うことが出来た。ユニバーサルレストランを実施する前段階としてケータリング形式で食事を提供しようと考えていたが、実施場所の確保も出来たためレストラン形式で食事の提供を行うことが出来、最終のゴールの形も見えてきた。ミーティングなどで意見を出し合って実施しても実際の試食会の中で学びや気づきが多くあった。試食会の後保護者の方達から周りを気にせずゆっくりと食事が出来てよかった、子どもを連れて初めて外食した、という声もいただけてそれが一番の成果だと感じた。

**事業を実施しての課題・今後の取組**

嚥下障害を持つ当事者のご家族以外にも、レストラン経営者、商工会議所などの専門家や本プロジェクトに関心のある方々を試食会にご招待して、地域社会にインクルーシブな外食環境を作り出していくためのアイデアを検討していきます。令和4年度は身近な人に向けた活動が多くなり、発信力が課題でもあったので令和5年度はより多くの方に利用していただけるよう広報活動にもより力を入れていきたいと考えております。